

3月11日	福島原発	東電本店	官邸／政府	保安院	福島県、その他の動き
午後 2:46	地震発生	勝俣会長（中国へ出張中） 清水社長（奈良へ出張中）			
2:48	避難警報				
2:52	1号機非常用復水器自動起動	原子炉自動停止の連絡入る			
3:03	1号機復水器手動停止				
3:06	6350人→400人 現場作業員出る	非常災害対策本部設置			
3:27	津波第一波到達				
3:30	1～5号機電源喪失	武藤副社長、福島第二へ へりて向かう			
3:35	津波第二波到達 1号機フエイルセーフ 機能発動	電源喪失の連絡入る メルトダウンが発生する 可能性を認識			
3:42	●特定事象発生通報 (10条)	原子力緊急時対策本部			
4:30			海江田大臣、経産省から原子炉 異常事態の報告を受ける		
4:36	●特定事象発生通報 (15条)				
4:45	●1号機通報解除				
4:55			首相記者会見		
4:57				特定事象発生通報 (15条)の 連絡を受ける	
5:00頃	●炉心頂部露出				
5:07	●特定事象発生通報 (15条)	電源車を手配（警察にも要請）			
5:30	吉田所長消防車による注水を 指示、しかし誰も具体的な 検討せず				
5:39			海江田大臣、首相に異常事態を 20分間にわたり報告		NHKが緊急事態 (15条通報) を放送
5:42		官邸に15条通報を伝達			
5:45				テレビで記者会見（緊急事態宣言は 検討中と回答）	
5:48					
5:50	■放射能漏れ発生を確認		首相、菅首会談に出席 首相、菅首会談を退席		
6:02					
6:07			保安院回答できず 海江田大臣、秘書官ら 六法全書を読む	20分程度の時間ロス	
6:30		武藤副社長、現地到着			
7:03		清水社長、名古屋空港到着	●原子力緊急事態宣言		
7:30	■燃料棒全露出				
7:45			政府、自宅待機を指示		
7:47			原子力緊急事態宣言を発表 / 放送 （避難指示なし）		NHK、避難準備、飲食制限等を放送
8:50					2km 圏内避難指示
9:05頃?	電源車到着、プンプンむすび			SPEEDI 稼働	
9:12				21:40 頃に炉心頂部露出と予想	
9:15	●特定事象発生通報 (15条)				
9:23			政府、2km 避難、2～10km 屋内避難を指示		
9:30	40 人の人力でケーブル敷設				
9:30	1号機復水器の便を開く				
9:50	1号機放射線量上昇				
10:00			危機管理センターに関係幹部を 召集（東電は武黒フェロー）	メルトダウンの時間を官邸に報告	
11:20					
11:20				記者会見、作業難航中を報告	
11:41				SPEEDIの結果を官邸に送信 官首相に伝達されず。県庁や住民に 告知するといふことがなかった。 データは3月23日に公表	
11:45		清水社長、自衛隊機で戻れず			文部科学省、福島のアフサイトセン ターに予測をメールで1時間ごと 送信（福島県担当者メールに15日 まで気づかず）
11:50	1号格納容器異常圧力				
3月12日					
午前 0:00	吉田所長ベントを指示				
0:50	格納容器破損予想時間				
0:50	メルトダウン予想時間				
0:53			ベントについて政治家が レクチャーを受ける		
0:55	●特定事象発生通報 (15条)				
1:00		武藤副社長、大熊町で 記者会見			原発付近の風向きが変わっていく
1:30	ベント開始時間の報告を受 ける		ベントを行うのを3時まで 待つようにと指示 文部省から官邸に SPEEDI 図が 届く		
1:35					
2:35	首相視察の連絡が入る			SPEEDIの結果を官邸に送信 官首相に伝達されず。県庁や住民に 告知するといふことがなかった。 データは3月23日に公表	
2:55	■2号機冷却確認				
3:12			ベントすることを発表。また、 菅首相の現地視察も同時に発表 半径 3km が避難指示		
3:45	1号機、白いもやを確認			SPEEDI で再計算	
3:53					
3:59					長野県北部で震度 6 の地震発生
4:00	オフサイトセンター 立ち上がる	武藤副社長、センターに入る		保安院現地事務所、搬送	
4:00頃		武黒フェロー、直接現場と 電話せず本店を経由して 状況を把握。このため官邸は 正確な情報を把握できず	仮眠中の枝野、叩き起こされる		
5:00頃	■1,2,4号機冷却できず ●特定事象発生通報 (15条)			班目委員長、10km まで避難範囲を 拡大を宣言	
5:44			3km 圏内避難、3～10km 屋内 避難を指示		
6:00	1号機メルトダウン／スルー		菅首相、視察決定		
6:14			菅首相、視察へ		
6:50			海江田大臣、ベントを東電に 行うように命令		
7:11			菅首相、第一原研に到着		
7:19			菅首相、先駆重要塔へ入る		
7:30頃?	吉田所長、決死隊を作ると 菅首相に発言				
8:03	吉田所長、ベントを指示		菅首相、官邸へ飛び立つ		
8:04					
8:27	本店から連絡、避難 完了を待つ状態に	30分 待ち	避難範囲に合っていない住民がいる ためベントを待つように要請		
9:04	決死隊突入				
9:15	MO 弁 25% 開ける事に成功 しかし以後決死隊突入できず				
10:17	遮断操作で弁を開こうとする が失敗				
10:23	遮断操作で弁を開こうとする が失敗 (2 回目)				
10:24	遮断操作で弁を開こうとする が失敗 (3 回目)				
11:30		勝俣会長帰国（成田空港）			
午後 12:30	コンプレッサーのアダプタ 探し				
2:00	コンプレッサー起動、 1号機ベント開始				
2:02				破壊範囲シミュレーションを官邸に 伝える (9月13日まで公開されず) 消防庁に消防車の出動を要請 （東電と保安院でもやりとり）	
2:30	1号機ベント確認 (NHK TV)				
3:30					消防庁/ハイパーレスキュー隊出動
3:36	1号機爆発で2号機は外部か らの電源供給の機器等破損し 電源供給不可に		爆発を TV で確認		NHK1号機爆発情報すぐに確認できず、 レスキュー隊、守谷サービスエリアで 待機したまま忘れ去られ、その後帰宅 NHK、10km 圏外でも外にでないように 放送
5:00頃	避難範囲を 50km にしてい ると思っていた (吉田所長)		菅首相、東電に問い合わせるが 回答得られず。経産省も同様に 事態を把握できず。 経産省や班目委員長菅部 5F に 集まる		
6:00頃		武黒フェロー、海水注入の 準備に1時間かかる事を報告	班目委員長、海水注入を宣言 菅首相、再臨界の可能性を聞く 班目委員長「0 ではない」		
7:04	2号機、海水注入開始	武黒フェロー、海水注入の 停止を命令			
7:25	吉田所長、命令を無視	清水社長、海水注入停止を命令			
7:40			水素爆発である事を確認		
7:55			菅首相、海水注入を指示		
8:05			海江田大臣、命令書を作成		
8:10	武黒フェロー、海水注入の 許可が取れたと本店に連絡				
8:20	保安院に海水注入開始を報告			海水注入開始の連絡を受ける	
11:36	■3号機冷却機能停止				
12:35	■3号機高圧注水系に切替				
午後 6:25			避難区域を、20km 圏内に拡大		
8:32			菅首相、会見で避難区域を拡大		
3月13日					
午前 2:42	高圧注水系、手動停止				
4:00頃	3号機高圧注水系が手動停止 の連絡を受ける				NHK、SPEEDI の情報を出すように 国に求める
5:00前	小型発電機で弁が開くか 試みるが失敗				
5:10	3号機が冷却機能を失った 事を保安院などに報告				
早期	3号機にも海水注入の準備			班目委員長と東電班長と保安院が 海水注入を協議→指示	
早期	淡水切り替え (指示を菅首相 からと勘違い)				
6:00頃	■3号機燃料棒露出始まる				
8:00頃	■3号機メルトダウン				
8:41	3号機ベント成功				
9:08	電源確保のための車のバッテ リーを収拾				
9:08	逃がし安全弁開く				
9:25	3号機、淡水注水開始				
10:15	2号機のベントを指示				
10:30	海水注入に切り替え指示、 しかし切り換えられず				福島県、保安院からの拡散予測 メールを受信するも15日朝まで 気づかずメールを放棄
11:30	3号機 AO の弁開じる				
12:00	2号機にも海水注入に取組む ように指示				
午後 1:12	海水注入に切り替え				
2:30	3号機の白いもやもやが 緊急対策本部に連絡される				
3:30	3号機の中央制御室から待避				
8:00	3号機 AO 弁開く (開いたら 閉じたりでうまくいかず) 消防車による海水注入	輪番停電の実施を報告>中止	官邸地下と5 階の間でなぜか 連絡つかず (謎) このため 首相らには情報が伝達されず		
3月14日					
1:00	タンクの海水がなくなり 海水注入を中断				
3:20	海水注入を再開				
6:50	屋外作業員一斉待避				
7:35	炉心損傷状況を報告 （保安院、東電、県庁）				
11:01	3号機爆発 施設破損し使えず			保安院、現地事務所から再度待避 原子力委員会からのヨウ素剤投与の 連絡に気づかず県庁に待避	
午後 1:00過ぎ	冷却系バッテリー切れ				
1:38	2号機冷却機能喪失と連絡				
6:00過ぎ	2号機、減圧開始				
7:20	消防車がソリソリ切れて注水 できず		官邸、ようやく全容を把握		
7:54	2号機、海水注入開始		寺田、保安院に海水注入を発表 するように指示するが無視される 寺田、吉田所長に東電に注入を 発表するように連絡	保安院、官邸の指示を無視	
10:50	2号機、圧力異常を確認	官邸との連絡を盗み聞き。 官邸の指示を無視			
3月15日					
午前 3:00頃			経産省など東電待避を容認 菅首相、搬退するなど発言		
5:26		清水社長、官邸に呼ばれる			
5:35	菅首相を見物する社員。本部は 緊張感が少ない様子		東電本部に対策室を設置 菅首相、東電本部に到着		
6:10	4号機爆発				
6:00過ぎ	●特定事象発生通報 (15条) (70 回目の通報) 70 人を残して 580 人が待避				
8:45	緊急時なのに待避の件で稟議書 を回して承認をとっていく 放射能拡散予想図提出するが 縮尺も何もなく役に立たず		稟議書を回すのを見て寺田驚く 細野、吉田所長以外は役に 立たないと判断。その後、 勝俣会長を動かさないとい 何事も進まないのを認識		
3月16日					
午後		清水社長、めまいで倒れる			
3月17日					
午前 9:48	自衛隊、3号機へ海水投下				
10:00			菅首相、米大統領と電話会談		
午後 4:14					自衛隊、第一原発へ出発
7:05	消防車、3号機へ放水開始				
7:35	自衛隊、3号機へ放水開始				
8:07	自衛隊、3号機への放水終了				
3月23日					
			班目委員長、SPEEDI の情報を 公開。ただし、試算値であり 危険ではないと会見で放送		NHK、政府の会見から10日以上 経過してから SPEEDI 結果を放送